

「おひさまテラス」の概要

商業施設2階には、市の新たな公共施設として、多世代交流施設「おひさまテラス」を設置します。

面積約2、200㎡の館内は、天井が高く開放的な空間です。多様な機能を持った各種スペースで構成され、6千冊を超える本に囲まれた、地域の新たな交流の場となります。さまざまな発見や出会いをきっかけとした交流からコミュニティを育み、その活動を地域に広げてい

くことで、将来にわたり笑顔あふれるまちづくりに寄与していきます。

「おひさまテラス」の機能紹介

個性豊かな有料レンタルスペースと「パブリック」と名前の付いた無料で利用できるスペースなどで構成しています。また、地域の皆さんの自己実現や、新たな交流と学びを支援するイベントや講座なども開催します。

施設の主な機能は、次のとおりです。

① カフェレストラン

地元食材を使った飲食の提供や食を通じた人材育成の場

② キッチンスタジオ・パティールーム

料理教室など食に関する集まりやフードビジネス創出の場

③ クラフトルーム

モノづくりを通じた自己実現やコミュニティ形成の場

④ ダンススタジオ・ミュージックスタジオ

趣味を通じた自己実現や交流、サークル活動支援の場

⑤ コワーキングスペース・ミーティングルーム

⑥ ベビーキヤン

施設利用者を対象にした未就学児の無料一時預かりの場

⑦ プレイングパブリック

雨の日でも思いっきり遊べる心と体を育む子どもの遊び場

⑧ ラーニングパブリック

地域の新たな学びを作り出していく学習スペース

⑨ グローイングパブリック

育むをテーマとした小さな子どもや保護者同士の交流の場

⑩ ミライパブリック

大きな本棚の前にあるイベントスペース

⑪ おひさまライブラリー

館内各所に設置されたテーマ性のある読書スペース

持続可能な

まちづくりに向けて

まちをつくって終わりとせず、責任を持って持続させていくために、事業者グループ4社によるエリアマネジメント組織「一般社団法人みらいあさひ」が設立されます。また、この法人の活動に地域の声を反映させるため、市や旭中央病院、地元事業者、地域住民などが参画した「(仮称)みらいあさひ協議会」を設置し、時代に即したより魅力あるまちづくりを継続して行っています。

くわしい内容は「みらいあさひ」のホームページ(<https://www.miraiasahi.jp/>)で見ることが出来ます。



問い合わせ先

企画政策課企画調整班

☎ 62・5307



●所在地 旭市イの4337-1(イオンタウン旭2階)

●開館時間 9:00~21:00

●定休日 月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始

※利用料金などのくわしい内容は、4月中旬に開設する専用ホームページなどでお知らせする予定です。

4月23日(土)オープン

「生涯活躍のまち・

みらいあさひ」が始まります

行政コミュニティゾーン
多世代交流施設
「おひさまテラス」

居住ゾーン(予定)
特別養護老人ホーム、
移住者・高齢者向け住宅など

健康ゾーン
クリニック(予定)、
フィットネスなど

みらい広場
イベント開催など

商業ゾーン
スーパーマーケット、
ドラッグストア、物販店など

「生涯活躍のまち・みらいあさひ」のコンセプト

- 旭中央病院を核とした、医療・介護と農業の連携により、日本一の安心と生きがいのある暮らしを提供する「持続可能な多世代交流拠点」
- 多世代・多機能が混在し、ともに支え、触発し合う「安心・生きがい・おもしろ創造空間」

「生涯活躍のまち・みらいあさひ」とは

市では、人口減少・少子高齢化の進展に歯止めをかけ、将来にわたり持続可能なまちづくりを行うため、地方創生の観点から、平成28年2月に策定した旭市総合戦略において、旭市生涯活躍のまち構想を重点戦略として位置付け、その実現に向けて取り組んできました。

本事業は、①希望に応じた移住、②移住先での多世代との交流、③移住先での健康でアクティブな生活、④必要に応じて医療・介護が受けられる、⑤官民連携といった、国の「生涯活躍のまち」構想に掲げる5つの要素を取り入れつつ、市の宝であり、診療圏人口100万人を誇る旭中央病院を核として、医療と介護だけでなく、市の基幹産業でもある農業とも連携させ

たまちづくりです。

事業の実現により、元気な高齢者を中心とする都市住民の誘致や若年世代の流出抑制・流入促進、仕事づくり、子育て支援人材育成、生涯学習、賑わいの創出など、多方面への効果が期待でき、市全体の活性化につなげるための拠点として新しいまち「みらいあさひ」をつくりま

民間活力の積極的な活用

本事業では、長期間にわたって安定的で効率的な運営と質の高いサービスを提供するために、民間事業者の資金と経営能力などを活用してきました。

平成30年度に事業主体となる民間事業者の公募を行った結果、イオンタウン(株)を代表事業者とし、大和ハウス工業(株)千葉中央支社および阿部建設(株)を構成員とするグループによる事業計画

「みらいあさひ」が最優秀提案に選定されました。その後、(株)楽天堂がグループに加わり、令和2年7月に市と事業者グループとの間で、30年間にわたる官民連携によるまちづくりに関する基本協定を締結しました。

「みらいあさひ」の事業概要

本事業は、旭中央病院ヘリポートの東側約3・5haの土地に「安心」暮らし「交流」連携の4つの機能を基本とし、エリアを「行政コミュニティゾーン」「商業ゾーン」「健康ゾーン」「居住ゾーン」と大きく4つに分けて配置しています。

このうち「居住ゾーン」を除くエリアが4月23日(土)にオープンします。

「居住ゾーン」の各施設については、令和5年度以降に順次整備される予定で、詳細の検討が進められています。